

第11回市場戦略統合委員会 議事次第

日本商品先物振興協会

- 日 時 平成22年5月21日（金） 午後2時～
- 場 所 先物協会会議室
- 議 題 1. 国内・海外・店頭の商品先物取引を統合した顧客口座
のあり方について
2. その他

配付資料

- 資料1. 国内・海外・店頭の商品先物取引を統合した顧客口座に係る課題

以 上

国内・海外・店頭の商品先物取引を 統合した顧客口座に係る課題

【問題意識】

- 米国のFCMでは証券、コモディティを同一口座で横断的に取引できる。
- そのような環境下で日本の商先業者を選んでもらうためにはどのような制度整備が必要か。
- 顧客の利便性を高めるにはどのように顧客口座を管理すればよいか。

【具体的論点】

- 各取引の口座開設手続きを合理化・簡略化できないか。
- 顧客が預託資金を効率的に運用できるようにするためには、どのような資金(証拠金)管理が考えられるか。
- 分離保管等による顧客資産の保全方法について工夫の余地はないか。
- 預り証の発行に際して商品別の発行としない等、簡素化の余地はないか。
- 利便性の高い取引画面(例えば、国内、店頭、海外、FX等を同一画面で表示する等)の提供により利便性を向上できないか。¹

口座開設手続の合理化①

【問題提起】

○以下のデリバティブ取引に関する口座を一つの手続きで開設できないか。

(商品デリバティブ取引)

- ・国内取引所取引
- ・店頭商品先物取引(例:商品CFD取引等)
- ・海外商品先物取引

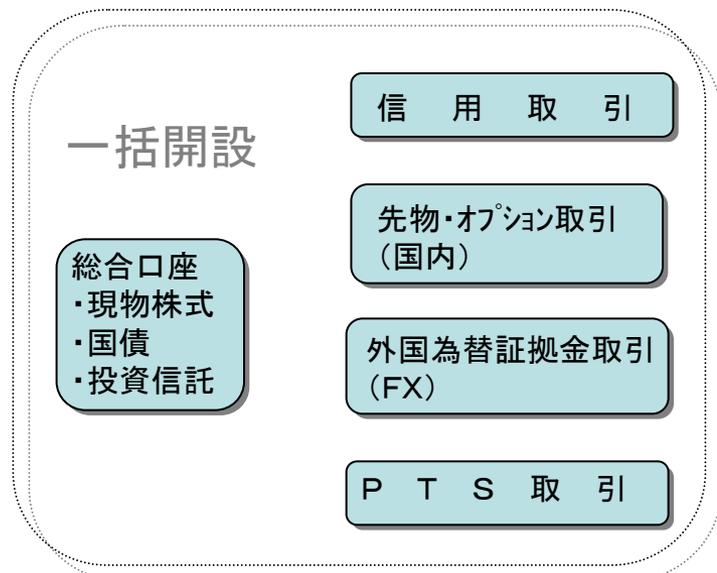
(金融商品デリバティブ取引(金融商品取引業を兼業している場合))

- ・証券先物取引
- ・FX取引(店頭または取引所取引)

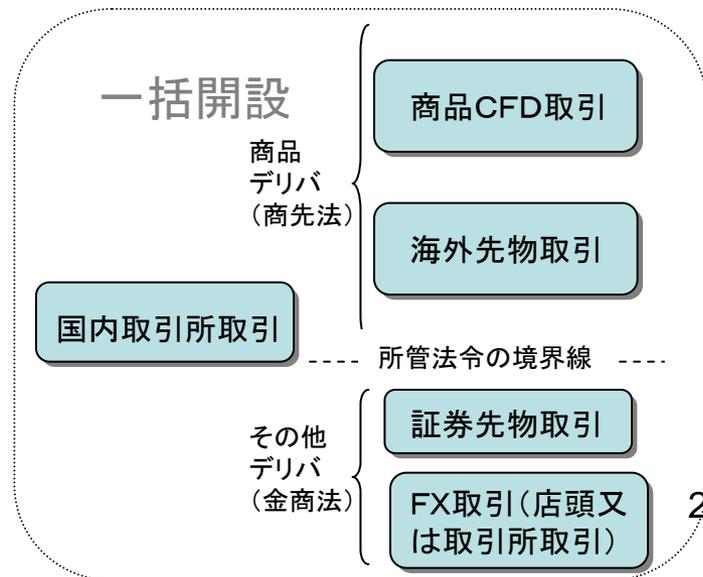
【課題】

- ・適合性審査をどう行うか。
適合性の水準は商品ごとに異なる。最も厳しい水準で審査することになるのか。
- ・説明義務をどう果たすか。
複数商品間で重複している事項は1度の説明で済む。説明が効率化されて商先業者にとっても顧客にとっても負担が軽減されるのではないか。
- ・「約諾書」をどう改めるか。
基本契約の締結をどのように行うか。

あるネット証券会社の例



商先業者への応用(案)



口座開設手続の合理化②

【口座開設手続の具体的流れ】

金商業者の顧客についてはデリバティブ取引用の口座開設を希望していることを前提条件としている。

	① 口座開設申込み	② 契約締結前書面の 交付	③ 適合性審査、 説明義務	④ 契約締結手続	⑤ 契約締結時書 面の交付
商先業者 (商先法)	口座設定申込書・本人確認書類の差入れ	委託のガイドを交付	審査、説明	約諾書、通知書の差入れ	—
		法第217条	法第215、218条	準則第4、5条	
金商業者 (金商法)	口座設定申込書・本人確認書類の差入れ	業者の商号、契約の概要、手数料、損失の危険性等を記載した書面を交付	審査 (説明義務に係る規定なし*1)	—	契約の成立年月日及び概要、連絡方法等を記載した書面を交付
		法第37条の3	法第40条 (適合性に関して)		法第37条の4

口座開設完了

*1 金商法は契約締結前書面交付義務として規定。(「一問一答金融商品取引法」p206より)

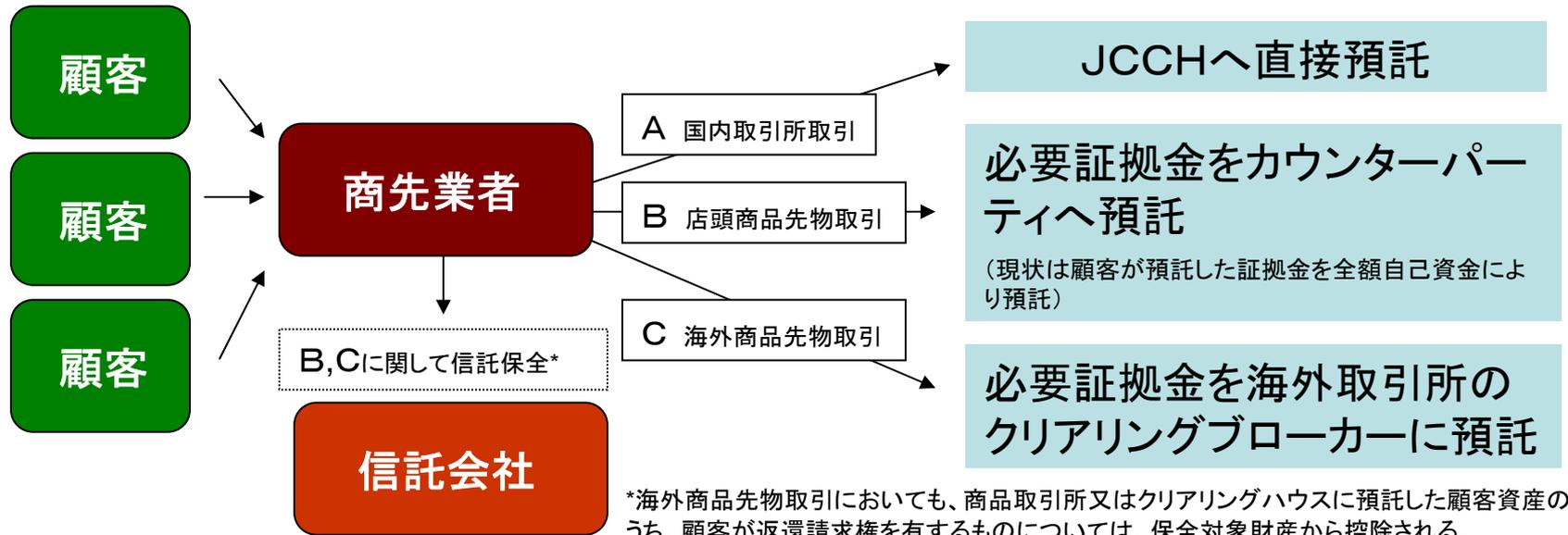
【問題提起】

- 金商業においては、総合口座とデリバティブ取引(先物・オプション、FX等)用の口座を一つの手続きで開設できる。
- 商品先物取引業者において、国内・店頭・海外の各取引口座を一つの手続きで開設できるようにするには、どうすればよいか。

資金（証拠金）の効率的運用

【問題提起】

証拠金の預託先、顧客資産の保全制度が異なる中で、顧客が投資資金（証拠金）を効率的に運用できるようにするにはどのような方法が考えられるか。



【設例】250万円を預託して取引を開始したところ、右記の通りの値洗推移となった。

		0日目 (取引開始)	1日目 (値洗)	2日目 (値洗)
必要証拠金	国内取引所取引 (SPAN証拠金制度)	100万円 (維持水準70万円)	+50万円	△70万円 (40万円不足)
	店頭商品先物取引	150万円 (維持水準100万円)	△70万円 (30万円不足)	+50万円

【商先業者における証拠金の通算】

・1日目も2日目も、個別商品では維持水準を下回っているが、通算では維持水準以上の有効証拠金が残っている時に、商先業者がプール計算のニーズに応えることができるか。

複数の商品ラインナップを有する証券会社の事例

項目	内容
口座開設	総合口座に加えて、顧客が希望する金融商品について、同時に開設を行うことができる。
口座設定	<ul style="list-style-type: none"> ➢総合口座、信用取引用口座、先物・オプション取引用口座等、商品別に区分して設定している。（金商業者にレバレッジ規制が課されたことにより、CFDの各原資産（現物株式、指数、債券、通貨）及びFX等、取引種別ごとのレバレッジ率が異なるため、それらを同一口座としていない。） ➢一度自分の口座画面にログインすると、その中で複数商品の取引画面に移動できる。
商品間の資金移動	<ul style="list-style-type: none"> ➢資金は商品別に預託。商品間の資金移動は顧客が指示。ログイン画面上で行うので、資金移動は瞬間的に行われる。（対面取引の場合、顧客からの振替指示に関する記録の保存が必要。） ➢分別管理の方法が異なる口座間の顧客資金移動は事後的に行われる。資金移動完了までは業者が立替えて顧客の注文に応じる。
商品間の損益の通算	<p>行っていない。</p> <p>（業者が立替えを行うことによって損益を通算するサービスを提供すれば、競争力は向上するだろうが、口座が別々であるので立替の問題に加えて、システム開発の問題もある。）</p>
預り証の発行	<p>金融機関経由での預託のみのため、預り証は発行していない。</p> <p>（法令の規程によるが、顧客が業者に預けた額の総額を表示する方法が合理的ではないか。）</p>

証券会社に対するヒアリングにより作成

（全ての証券会社の実態を表しているものではない。）

複数商品に関して同一の口座で取引できることとした場合における顧客資産の保全に係る課題

【論 点】

- 国内取引所取引は直接預託（顧客から預託を受けた取引証拠金は全額清算機関等に預託）を原則としている一方で店頭商品デリバティブ取引は信託保全による分離保管とすべきことが規定されているが、取引に当面必要の無い余剰証拠金の保全先を選択可能か。
- 余剰証拠金を信託により保全した場合、信託口座からの入出金を機動的に行うことができるか。
- JCCHが店頭商品先物取引の清算業務を行えば、立替を行わずに損益通算可能な範囲が拡大し、証拠金預託額の増加も見込めるため、顧客・商先業者にメリットがあるのではないか。
- 他方で同一顧客の複数のポジションを通算した損益状況、資金の過不足状況を常時把握し立替を行うためには、そのためのシステム開発が必要であり、商先業者には負担となるのではないか。

“ワンストップ取引”で集客する米国ブローカーの例 ～個別株オプション、ファンドから大豆、原油先物まで

optionsXpress：本社シカゴ、分離保管対象資産 7億9500万ドル（約731億円）09年12月末

【取引可能商品】 現物株式、個別株オプション、債権、先物、ミューチュアルファンド、ETF

【広告】 「すべての投資をひとつの取引口座で人生をシンプルに」

【特徴】 2000年創業。急速に業績を拡大したネット専業ブローカー。

Interactive Brokers：本社コネチカット、分離保管対象資産 63億2900万ドル（約5823億円）09年12月末

【取引可能商品】 現物株式、個別株オプション、債権、先物、FX、各種ファンド、ETF

【広告】 「世界19カ国の80を超える市場をひとつの口座で取引」商品名は“IBユニバーサル口座”

【特徴】 1977年創業。米国最大のディスカウント・ブローカー。日本を含む世界11カ国に営業拠点。

小口はネット専業、大口はトレード・デスクも対応。

ワンストップ取引を可能としている条件

- CFTCとSECにまたがる商品の口座開設書類の一本化⇒日本では所管法令が異なるため書類は別々
- 投資家に異市場間の損益通算提供。ただし清算機関が異なる場合には、自己資金による立替など、実際にはブローカー内部で処理が必要。
- 投資家はひとつの売買報告書で口座管理⇒これによりキャピタルゲイン課税の申告が容易になる

さらなる利便性の提供

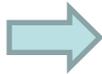
- 独自の注文発注画面の提供。多彩な注文発注・キャンセル方法、建玉リスク管理、顧客が独自に再集計可能な売買報告など
- 顧客の自主学習システムの提供

米国 “ワンストップ取引”の口座開設画面



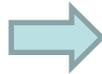
1 Set Up

準備



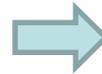
2 Profile

個人情報



3 Agree

同意



4 Sign

電子署名



5 Fund

入金

Open An Account

居住国

世界中の国から選択

口座の種類 (ひとつを選んでください)

一般向け

- 個人口座
- ジョイント口座

トラスト(信託)向け

- レギュラー
- キーオプラン
- PSP
- MPP

事業者向け

- 株式会社・有限会社
- パートナーシップ
- 投資クラブ

未成年者向け

- 保護者
- カバーデル
- マイナーロス

個人年金向け

- トラディショナルIRA
- ロールオーバーIRA
- ロスIRA
- SEP IRA
- シンプルIRA

口座の種類別

- キャッシュ(株式現物、債券、投信等)
(最低預入金制度なし)

- キャッシュ/マージン(証拠金取引)

株式、債権、ミューチュアルファンドのほかに私は次の取引を希望します。

- オプション取引
- 先物取引